

# 和歌山市の維持・向上すべき歴史的風致

計画期間：平成30年度（2018）～平成39年度（2027）

本市は、紀伊半島の北西部に位置し、豊かな海に恵まれ、特に「和歌の浦」は風光明媚な景勝の地として広く知られた。中世末には「和歌山城」が築城され、徳川御三家の城下町として繁栄を極めた。徳川家ゆかりの城下町や名勝和歌の浦など固有の歴史文化遺産が各所に残り、和歌祭など脈々と継承される伝統的活動とともに、本市固有の歴史的風致を形成している。

## 1) 景勝地和歌の浦にみる歴史的風致

紀州東照宮の和歌祭は、和歌の浦の景勝をあらゆる要素が随所に盛り込まれ、町並みや和歌浦湾を背景に和歌浦一帯を練り歩く。また、和歌浦天満神社の天神祭は、地域に密着し風物詩として人々に親しまれてきた。さらに、和歌の浦の景観や自然は人々の保全活動により守られてきた。

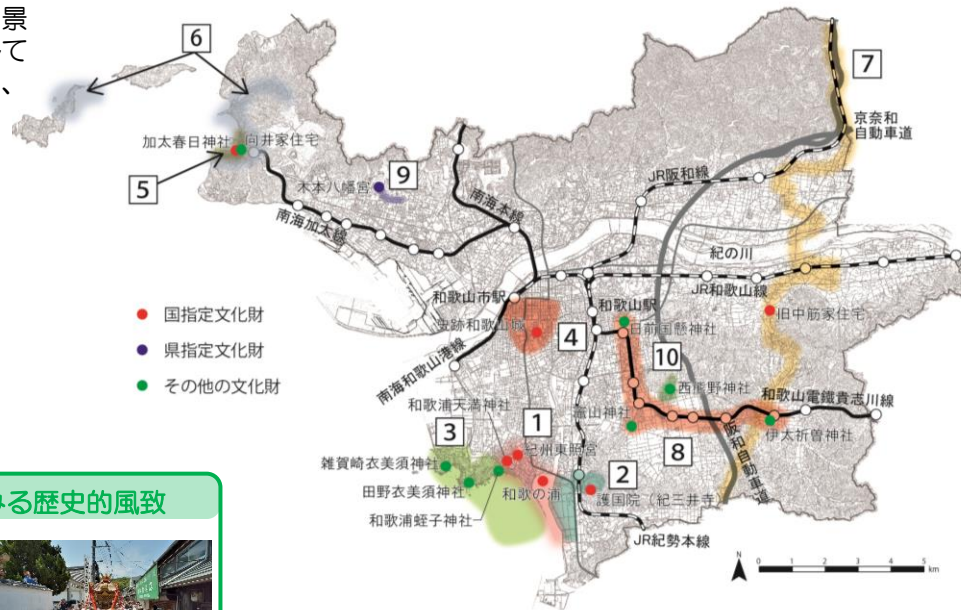


和歌祭（渡御行列の巡行）

和歌の浦は、自然環境と歴史的重層性を示す建造物が一体となった特有の景勝地であることが誇りとされ、保全活動や祭礼が根付き、歴史的風致を形成している。



和歌山市の位置



- 国指定文化財
- 県指定文化財
- その他の文化財

## 2) 紀三井寺にみる歴史的風致

紀三井寺の名の由来ともなった三井水は、古来より地域住民や住職らにより守られ、今もこの水を汲むために参拝者が訪れる。また、紀三井寺の麓、布引に広がる畑地で生産される農産物は、この地の特色となるとともに、対岸の和歌の浦までの景観の一部となっている。



吉祥水感謝例祭

紀三井寺は、地域住民の活動により、今も多くの入客を惹きつける名所となり、歴史的風致を形成している。

## 5) 加太春日神社の海老祭にみる歴史的風致

加太春日神社の海老祭は、まちなかや加太浦に沿って地区一帯を神輿が巡行し、加太の人々の暮らしや生業の喜びを感じることができる。



神輿の巡行

また、加太の人々にとって海老祭は、伝統文化の継承とともに地域の一体感を醸成する場ともなっており、暮らしと生業が一体となり、歴史的風致を形成している。

## 6) 葛城修験にみる歴史的風致

平安時代末期から続く葛城修験は、修験の形式は一部変容しながらも、自然を信仰の対象とし、自然から力を得るといふ人々の目的は変わらず受け継がれている。



葛城修験・春の峰入り

加太・友ヶ島には、修験の歴史を今に伝える建物や遺跡が、修験の活動とともに残り、歴史的風致を形成している。

## 7) 熊野古道にみる歴史的風致

熊野参詣の歴史は古代にまで遡り、現在も人々の往来は続き、熊野古道の歴史を伝える活動が受け継がれている。王子社跡は熊野古道の歴史を伝える貴重な文化遺産であり、地域の人々の誇りとして大切に守られている。



王子跡の案内板

熊野古道は、その歴史を伝える活動とともに、地域住民にとって特別な存在として継承され歴史的風致を形成している。

## 3) 和歌浦湾の漁業集落にみる歴史的風致

雑賀崎・田野浦・和歌浦は、現在も漁業が生業として続けられるとともに、漁業に結びつく伝統行事が継承され、地域に根付いた行事として大切にされている。



雑賀崎の神木（神木）

雑賀崎・田野浦・和歌浦の暮らしは漁業とともにあり続け、漁業という生業が集落に息づいた地域として歴史的風致を形成している。

## 4) 城下町和歌山にみる歴史的風致

和歌山城は戦災に遭いながらも人々の活動により今日まで維持され、城周辺では今も残る掘割を保全する活動が住民により行われている。これらの活動のもと、茶道や西之丸を中心とした紅葉、山吹、桜の鑑賞など、文化に親しむ人々の活動が息づいている。



市民茶会

このような活動により、和歌山城とその周辺は今も多くの入客を惹き付ける場であり続け、歴史的風致を形成している。

## 8) 三社詣にみる歴史的風致

和歌山市では、古くより、初詣に日前国懸神社、伊太郎曹神社、龜山神社の三社に参詣する人が多く、この三社を結ぶことを目的に和歌山電鐵貴志川線が通った。



初詣三社参り

三社詣は本市の風習として根付いており、三社は、地域に限らず市民全体の歴史遺産となり、後世に守りたい歴史的風致を形成している。

駅前に掲げられたのぼり▶

## 9) 木ノ本の獅子舞にみる歴史的風致

木ノ本八幡宮の例大祭は約500年継承される伝統行事であり、笛や太鼓の音に合わせた豪快な舞いは、木ノ本地区の人々にとっての誇りであり、次の世代へと受け継がれてきた。



宮ノ原で行われる獅子舞

木ノ本八幡宮を背景に獅子舞が舞う風景、そして獅子舞を守る人々の活動、これらは将来にわたって受け継いでいきたい歴史的風致である。

## 10) 団七踊にみる歴史的風致

団七踊は江戸時代から続く郷土芸能であり、毎年西熊野神社では団七踊が上演され、地域に音頭や太鼓の賑やかな音が響きわたる。



団七踊

子どもから大人まで踊る風景は、地域の人々にとって馴染み深い風景であり、一体感を感じさせる行事として大切に受け継がれ、歴史的風致を形成している。



# 和歌山市の重点区域における事業の概要

重点区域の名称：和歌の浦区域 重点区域の面積：384ha

重点区域においては、文化財や歴史的な建造物等とそれらに結びついた人々の活動の維持や発展に重点的に取り組み、当該区域の歴史的風致の維持向上を効果的に推進する。また、これを通じて、その他の歴史的風致の維持向上にも効果を波及させ、ひいては本市全域の歴史的・文化的魅力の向上を目指す。

## (1) 歴史的建造物の保存・活用に関する事業

### 1. 紀州東照宮境内修景整備・建造物美装化

創建400周年（2021年）に向けて、建造物の美装化や修景整備（石橋や石階段の修繕、神輿舎の改修等）を実施する。

### 2. 玉津島神社境内修景整備

修景整備（鳥居の復元、参道整備等）を実施するとともに、眺望を楽しめる広場の整備を行う。

### 4. 歴史的風致形成建造物保全活用事業

歴史的風致を形成している建造物を歴史的風致形成建造物に指定のうえ、保全・活用を図る。



紀州東照宮境内



神輿舎



玉津島神社鳥居

## (2) 伝統文化を反映した活動の継承に関する事業

### 12. 和歌祭の祭礼衣装等の新調・修繕

和歌祭本来の鮮やかさを復原するため、祭で使用される伝統的な祭礼用具や衣装等の新調・修繕を行う。



和歌祭の祭礼衣装

## (3) 歴史的建造物の周辺環境の保全に関する事業

### 14. 街なみ調査（整備方針・事業計画策定）

歴史的建造物が残る和歌の浦、紀三井寺周辺の町並みを調査・把握するとともに、修景整備のための整備方針、事業計画を策定する。

### 15. 住宅等沿道建物の外観修景

歴史的建造物が残る和歌の浦、紀三井寺周辺の町並みの形成に向けて、助成等を通じて修景整備を行う。

### 16. 無電柱化の推進

和歌祭の巡行経路や、紀州東照宮、和歌浦天満神社へつながる道路において無電柱化と美装化を行う。

### 17. 道路美装化・修景の推進

歴史的な町並みに調和した道路の美装化、修景整備を行う。

### 18. 公園整備

景観等に配慮するとともに歴史・文化が感じられる公園整備を行う。

### 19. 遊歩道整備

漁業集落の歴史・文化が感じられ、回遊することにつながるよう、人々の往来の中心であった古道を遊歩道整備する。

### 20. 駐車場整備

漁業集落の歴史・文化の魅力発信を図るため、来訪の起点となる駐車場整備を行う。

### 21. 広場整備

漁業集落ならではの風習に触れることができ、歴史・文化が感じられる広場整備を行う。

### 22. 周遊バス事業

歴史的建造物等を巡る周遊バスの運行を実施する。



あしべ通り



市道明光通線



無電柱化・美装化イメージ



御手洗池公園



和歌浦観光遊歩道

## (4) 歴史的風致の情報発信と認識向上に関する事業

### 23. 「和歌の浦」ガイダンス施設整備

和歌の浦の歴史・文化の情報発信を行うガイダンス施設を整備する。

### 25. 和歌の浦の文化説明板・まち歩き案内板設置

文化財の魅力伝えるとともに、回遊性の向上を図る。

### 26. 日本遺産の魅力発信

和歌の浦の魅力を広く発信・周知するため、様々な情報ツールを活用したPRを展開する。



ガイダンス施設イメージ

案内板イメージ

## 市全域を対象とした事業

- 3. 文化財の保存・修復と活用
- 5. 市域の文化財調査
- 6. 歴史的建造物等の公開・活用
- 7. 和歌山城の整備・活用
- 8. 歴史的風致維持向上支援法人への活動支援
- 9. 次世代の担い手育成事業
- 10. 歴史・文化に関する意識醸成・担い手拡大のソフト事業
- 11. 歴史・文化に着目したまちづくり支援事業
- 13. 無形民俗文化財の継承
- 24. 博物館歴史展示・講座の実施
- 27. 歴史・文化のプロモーション事業
- 28. 遺跡の普及・啓発



まち歩きイメージ

